

# 学校におけるインターネットの活用

末吉町立榎小学校

## 1 はじめに

学校におけるコンピュータ教育の充実が急務であると言われるようになってから、ハードウェアとしての環境は徐々に整備されつつある。また、ソフトウェアとしての環境づくりは、一朝一夕にはいかないまでも、ゆっくりとではあるが確実に前進してきている状況である。

本校では、平成8年8月下旬にパソコン室にインターネットを活用できる環境が整備された。従来のMS-DOSによるものは25台程度すでに導入されていた。そして、平成11年2月に図書室にもインターネットが活用できるように設置された。

ここでは、日々更新されていく情報を、学校でどのように活用し、教育活動に反映させてきたかという観点から、これまでの実践について紹介する。

## 2 活用上の基本的な考え方

本校では、インターネットの活用を授業への位置付けと活用にとられることなく、まず、目の前にあるコンピュータを生活に生かせるひとつの学習の道具、あるいは楽しい遊具としてとらえ、楽しみながら積極的に活用することが将来の複雑化する社会によりよく適応するにふさわしいアプローチの方法であると考え、次のように取り組んでいる。

- (1) パソコン室は、基本的に昼休み（各学年曜日を指定）や放課後等、子供が自由に利用できるように開放する。
- (2) 高学年を中心に、コンピュータの起動からプロバイダへの接続、そしてネットサーフィンやEメールの利用法などについて、年間計画の創意の時間等で全体的に一斉指導する。
- (3) 興味・関心をもった子供やパソコンクラブの子供に対しては、コンピュータリテラシーの向上が図れるように個々に応じて対応する。
- (4) 指導する側もすべてを習得してからというのではなく、子供といっしょに楽しく活用していこうという姿勢で取り組む。

## 3 具体的な取組

### (1) 初期の取組状況

ア 全国の小学校のホームページを閲覧し、インターネット先進校の様子やホームページのまとめ方を学んだ。

イ 日頃の学習や生活の中での疑問について、Eメール交換によって解決を試みるようになった。